



地域公共交通利便増進実施計画の変更認定について(協議)

項目	新	旧
<p>2. 計画実施区域と実施予定期間</p> <p>2) 実施予定期間 (P. 6)</p>	<p>2. 計画実施区域と実施予定期間</p> <p>1) 実施区域</p> <p>本計画の計画区域は、地域公共交通計画に基づき、町全域の地域公共交通の利便増進を図ることを想定し、町全域を対象区域に設定します。</p> <p>また、町が運営する公共交通については、近隣自治体等(刈谷市・大府市・知多市・阿久比町)へも発着を予定しているため、近隣自治体と密接な連携を図り、町外アクセスについても施策を展開します。</p> <p>また、知多バス東ヶ丘団地線との連携強化により、利便性の向上を図ります。</p>  <p>2) 実施予定期間</p> <p>計画期間は、地域公共交通計画の期間を踏まえて、<u>2024年10月1日から2029年9月30日</u>までとします。</p> <p>なお、<u>本利便増進実施計画は必要に応じて見直しを行います。</u></p>	<p>2. 計画実施区域と実施予定期間</p> <p>1) 実施区域</p> <p>本計画の計画区域は、地域公共交通計画に基づき、町全域の地域公共交通の利便増進を図ることを想定し、町全域を対象区域に設定します。</p> <p>また、町が運営する公共交通については、近隣自治体等(刈谷市・大府市・知多市・阿久比町)へも発着を予定しているため、近隣自治体と密接な連携を図り、町外アクセスについても施策を展開します。</p> <p>また、知多バス東ヶ丘団地線との連携強化により、利便性の向上を図ります。</p>  <p>2) 実施予定期間</p> <p>計画期間は、地域公共交通計画の期間を踏まえて、2024年10月から2029年9月までとします。</p> <p>なお、1年後に不具合が生じた場合は見直しを行います。</p>

3. 地域公共交通利便増進事業の内容・実施主体

地域公共交通利便増進事業の内容・実施主体

1) 利便増進事業の分類

地域公共交通利便増進事業（以下、利便増進事業）は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（以下「地域交通法」において「地域公共交通の利用の容易性の向上又は利用の円滑化その他の地域公共交通の利用者の利便の増進を図るために行う事業）」と示されています。

以下に事業内容の分類に対応した本計画で位置づける利便増進事業を整理します。

(1) 利便増進事業

事業内容の分類	本計画で該当する利便増進事業
一般乗合旅客自動車運送事業に係る路線等の編成の変更 (地域交通法第二条第十三項イ(1))	(1)「う・ら・ら」の路線変更 ・環状線を藤江線と新田線に分け、巽ヶ丘駅の乗り入れを実現する。 ・ニーズ調査で把握した課題に対応したダイヤを設定することで、総合的な利便性の向上を図る。
利用者が期間、区間その他の定められた条件の範囲内で地域公共交通を利用することができる運賃又は料金の設定	(2) 知多バス東ヶ丘団地線との連携強化 以下の取組により、民間バスとの共存共栄を目指す。 ・知多バス東ヶ丘団地線の運賃(普通

3. 地域公共交通利便増進事業の内容・実施主体

1) 利便増進事業の分類

地域公共交通利便増進事業（以下、利便増進事業）は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（以下「地域交通法」において「地域公共交通の利用の容易性の向上又は利用の円滑化その他の地域公共交通の利用者の利便の増進を図るために行う事業）」と示されています。

以下に事業内容の分類に対応した本計画で位置づける利便増進事業を整理します。

(1) 利便増進事業

事業内容の分類	本計画で該当する利便増進事業
一般乗合旅客自動車運送事業に係る路線等の編成の変更 (地域交通法第二条第十三項イ(1))	(1)「う・ら・ら」の路線変更 ・環状線を藤江線と新田線に分け、巽ヶ丘駅の乗り入れを実現する。 ・ニーズ調査で把握した課題に対応したダイヤを設定することで、総合的な利便性の向上を図る。
利用者が期間、区間その他の定められた条件の範囲内で地域公共交通を利用することができる運賃又は料金の設定その他こ	(2) 知多バス東ヶ丘団地線との連携強化 以下の取組により、民間バスとの共存共栄を目指す。 ・知多バス東ヶ丘団地線の運賃を、同経路を運行する「う・ら・ら」と同額に

<p>その他これに類する運賃又は料金の設定 (地域交通法第二条第十三項口(1))</p>	<p><u>旅客運賃</u>を、同経路を運行する「う・ら・ら」と同額にする。 ・東ヶ丘団地内の「う・ら・ら」バス停の位置を知多バス「東ヶ丘団地線」の位置と統一する(交通安全上、危険な場合を除く)。この際に、バス停配置等の見直しも行う。</p>	<p>れに類する運賃又は料金の設定 (地域交通法第二条第十三項口(1))</p>	<p>する。 ・東ヶ丘団地内の「う・ら・ら」バス停の位置を知多バス「東ヶ丘団地線」の位置と統一する(交通安全上、危険な場合を除く)。この際に、バス停配置等の見直しも行う。</p>
<p>(2) 上記事業と併せて行う事業であって、地域公共交通の利用者の利便の増進を図るための事業 (地域交通法第二条第十三項ハ) ①公共交通の運賃支払い方法の多様化 <u>・「う・ら・ら」において定期券の種類を拡充(既存の2か月定期券及び3か月定期券について、新たに割引率を設定、75歳以上の高齢者及び運転免許自主返納者枠の設定)するほか、1日乗車券(300円)を発行するとともに、定期券及び1日乗車券に電子チケットを導入</u> <u>・「う・ら・ら」及び知多バス東ヶ丘団地線にキャッシュレス割引を設定(交通系ICカードの場合、運賃は一乗車150円。小中学生の適用はなし)</u> ・「う・ら・ら」回数券を民間バス、タクシーに金券として使用(継続実施) ・「う・ら・ら」の他路線へ、無料で乗り継ぐことができる乗継券を発行(継続実施)</p>		<p>(2) 上記事業と併せて行う事業であって、地域公共交通の利用者の利便の増進を図るための事業 (地域交通法第二条第十三項ハ) ①公共交通の運賃支払い方法の多様化 ・「う・ら・ら」回数券を民間バス、タクシーに金券として使用(継続実施) ・「う・ら・ら」の他路線へ、無料で乗り継ぐことができる乗継券を発行(継続実施)</p>	

<p>②公共交通を安心して利用できる情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい路線図・時刻表の作成 ・「公共交通パンフレット」の作成 ・バスロケーションシステムによる運行状況の発信 <p>③利用促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児や高齢者に対する乗り方教室 ・巽ヶ丘駅で出発式を行い、「う・ら・ら」の巽ヶ丘駅乗り入れをPR ・利用促進を目的とした「う・ら・ら」を利用したイベントの開催 ・ICカード導入による特典の設定 	<p>②公共交通を安心して利用できる情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい路線図・時刻表の作成 ・「公共交通パンフレット」の作成 ・バスロケーションシステムによる運行状況の発信 <p>③利用促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児や高齢者に対する乗り方教室 ・巽ヶ丘駅で出発式を行い、「う・ら・ら」の巽ヶ丘駅乗り入れをPR ・利用促進を目的とした「う・ら・ら」を利用したイベントの開催 ・ICカード導入による特典の設定
--	--

2) 利便
増進事業
の内容と
実施主体
(P.11)

1. 藤江線	
運行方法	<p>・現行路線（環状線）では、運行時間が長く、ニーズの多い時間帯のダイヤ設定が困難でした。また、環状線では右回り・左回りで最短の目的地が異なるため、誤乗車もあり、時刻表や路線図についてもわかりづらいとの声がありました。</p> <p>→藤江線は、緒川駅から東浦駅を経由し、新たに巽ヶ丘駅に乗り入れる路線です。それにより、西知多総合病院への通院を可能にします。また、乗務員の休憩場所に巽ヶ丘駅が増えたことで、休憩時間の調整ができ、緒川駅で他路線との乗継利便性が向上しています。さらに、行き先も分かりやすくなることから、誤乗車を防ぐことができます。</p>
系統設定	<p>・現行の環状線では、右回りが6系統、左回りが4系統ありますが、利用者のニーズへの対応は十分ではありません。</p> <p>→環状線を藤江線と新田線に分け、通学時間帯とニーズの多い時間帯へのダイヤ設定を実現し、利用者の生活パターンに合わせた系統設定を行います。</p>
定時制	<p>・通勤退勤の時間帯に交通渋滞による遅延が発生しています。</p> <p>→遅延発生時間帯の運行ダイヤや休憩時間に余裕をもち、遅延に対応できるようにしています。</p>
乗換	<p>・「緒川駅東口」で「う・ら・ら」の他路線、知多バス「刈谷中部空港線」、JR 武豊線と乗継可能</p> <p>・「巽ヶ丘駅」で「う・ら・ら」新田線、知多バス東ヶ丘団地線、知多市コミュニティ交通、阿久比町循環バス、名鉄河和線と乗継可能</p>
事業主体	東浦町
事業形態	一般乗合旅客運送（路線定期運行）
運行日	毎日（ただし12月31日～1月1日は除く）
運賃	<u>一乗車 200 円（小中学生は 100 円）</u>
総停留所	
車両	<p>中型バス（全長：901 cm、全幅：230 cm、全高：304 cm）</p> <p>ポンチョ型バス（全長：701 cm、全幅：208 cm、全高：310 cm）</p>
運行時間帯	<p>平日：7時台から19時台</p> <p>土日祝：9時台から19時台</p>
1便あたり所要時間	約20分～50分

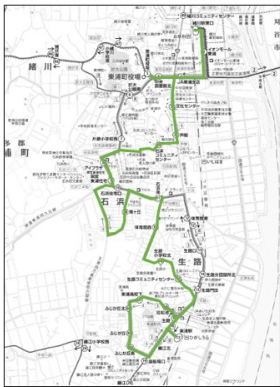
1. 藤江線	
運行方法	<p>・現行路線（環状線）では、運行時間が長く、ニーズの多い時間帯のダイヤ設定が困難でした。また、環状線では右回り・左回りで最短の目的地が異なるため、誤乗車もあり、時刻表や路線図についてもわかりづらいとの声がありました。</p> <p>→藤江線は、緒川駅から東浦駅を経由し、新たに巽ヶ丘駅に乗り入れる路線です。それにより、西知多総合病院への通院を可能にします。また、乗務員の休憩場所に巽ヶ丘駅が増えたことで、休憩時間の調整ができ、緒川駅で他路線との乗継利便性が向上しています。さらに、行き先も分かりやすくなることから、誤乗車を防ぐことができます。</p>
系統設定	<p>・現行の環状線では、右回りが6系統、左回りが4系統ありますが、利用者のニーズへの対応は十分ではありません。</p> <p>→環状線を藤江線と新田線に分け、通学時間帯とニーズの多い時間帯へのダイヤ設定を実現し、利用者の生活パターンに合わせた系統設定を行います。</p>
定時制	<p>・通勤退勤の時間帯に交通渋滞による遅延が発生しています。</p> <p>→遅延発生時間帯の運行ダイヤや休憩時間に余裕をもち、遅延に対応できるようにしています。</p>
乗換	<p>・「緒川駅東口」で「う・ら・ら」の他路線、知多バス「刈谷中部空港線」、JR 武豊線と乗継可能</p> <p>・「巽ヶ丘駅」で「う・ら・ら」新田線、知多バス東ヶ丘団地線、知多市コミュニティ交通、阿久比町循環バス、名鉄河和線と乗継可能</p>
事業主体	東浦町
事業形態	一般乗合旅客運送（路線定期運行）
運行日	毎日（ただし12月31日～1月1日は除く）
運賃	一乗車 100 円
総停留所	
車両	<p>中型バス（全長：901 cm、全幅：230 cm、全高：304 cm）</p> <p>ポンチョ型バス（全長：701 cm、全幅：208 cm、全高：310 cm）</p>
運行時間帯	<p>平日：7時台から19時台</p> <p>土日祝：9時台から19時台</p>
1便あたり所要時間	約20分～50分

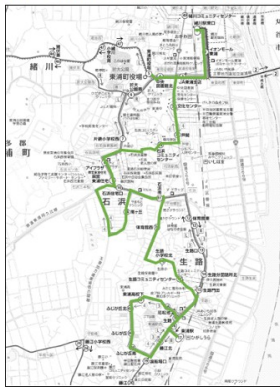
2) 利便
増進事業
の内容と
実施主体
(P.13)

2.新田線	
運行方法	<p>・現行路線（環状線）では、運行時間が長く、ニーズの多い時間帯のダイヤ設定が困難です。また、環状線では右回り・左回りで最短の目的地が異なるため、誤乗車もあり、時刻表や路線図についてもわかりづらいとの声がありました。</p> <p>→改正後は、知北平和公園、東ヶ丘団地を経由する緒川駅と巽ヶ丘駅間を運行する路線となります。それにより、西知多総合病院への通院を可能にします。また、乗務員の休憩場所に巽ヶ丘駅が増えたことで、休憩時間の調整ができ、緒川駅で他路線との乗継利便性が向上しています。さらに、行き先も分かりやすくなることから、誤乗車を防ぐことができます。</p>
系統設定	<p>・現行の環状線では、右回りが6系統、左回りが4系統ありますが、利用者のニーズへの対応は十分ではありません。</p> <p>→環状線を藤江線と新田線に分け、小学生の通学時間帯とニーズの多い時間帯へのダイヤ設定と以前より要望のあった知北平和公園への乗り入れを実現し、利用者の生活パターンに合わせた系統設定を行います。</p>
定時制	<p>・通勤退勤の時間帯に交通渋滞による遅延が発生しています。</p> <p>→遅延発生時間帯の運行ダイヤや休憩時間に余裕をもち、遅延に対応できるようにしています。</p>
乗換	<p>・「緒川駅東口」で「う・ら・ら」の他路線、知多バス「刈谷中部空港線」、JR武豊線と乗継可能</p> <p>・「巽ヶ丘駅」で「う・ら・ら」新田線、知多バス東ヶ丘団地線、知多市コミュニティ交通、阿久比町循環バス、名鉄河和線と乗継可能</p>
事業主体	東浦町
事業形態	一般乗合旅客運送（路線定期運行）
運行日	毎日（ただし12月31日～1月1日は除く）
運賃	<u>一乗車200円（小中学生は100円）</u>
総停留所	
車両	<p>中型バス（全長：901cm、全幅：230cm、全高：304cm）</p> <p>ポンチョ型バス（全長：701cm、全幅：208cm、全高：310cm）</p>
運行時間帯	<p>平日：7時台から19時台</p> <p>土日祝：9時台から19時台</p>
1便あたり所要時間	約20分～50分

2.新田線	
運行方法	<p>・現行路線（環状線）では、運行時間が長く、ニーズの多い時間帯のダイヤ設定が困難です。また、環状線では右回り・左回りで最短の目的地が異なるため、誤乗車もあり、時刻表や路線図についてもわかりづらいとの声がありました。</p> <p>→改正後は、知北平和公園、東ヶ丘団地を経由する緒川駅と巽ヶ丘駅間を運行する路線となります。それにより、西知多総合病院への通院を可能にします。また、乗務員の休憩場所に巽ヶ丘駅が増えたことで、休憩時間の調整ができ、緒川駅で他路線との乗継利便性が向上しています。さらに、行き先も分かりやすくなることから、誤乗車を防ぐことができます。</p>
系統設定	<p>・現行の環状線では、右回りが6系統、左回りが4系統ありますが、利用者のニーズへの対応は十分ではありません。</p> <p>→環状線を藤江線と新田線に分け、小学生の通学時間帯とニーズの多い時間帯へのダイヤ設定と以前より要望のあった知北平和公園への乗り入れを実現し、利用者の生活パターンに合わせた系統設定を行います。</p>
定時制	<p>・通勤退勤の時間帯に交通渋滞による遅延が発生しています。</p> <p>→遅延発生時間帯の運行ダイヤや休憩時間に余裕をもち、遅延に対応できるようにしています。</p>
乗換	<p>・「緒川駅東口」で「う・ら・ら」の他路線、知多バス「刈谷中部空港線」、JR武豊線と乗継可能</p> <p>・「巽ヶ丘駅」で「う・ら・ら」新田線、知多バス東ヶ丘団地線、知多市コミュニティ交通、阿久比町循環バス、名鉄河和線と乗継可能</p>
事業主体	東浦町
事業形態	一般乗合旅客運送（路線定期運行）
運行日	毎日（ただし12月31日～1月1日は除く）
運賃	一乗車100円
総停留所	
車両	<p>中型バス（全長：901cm、全幅：230cm、全高：304cm）</p> <p>ポンチョ型バス（全長：701cm、全幅：208cm、全高：310cm）</p>
運行時間帯	<p>平日：7時台から19時台</p> <p>土日祝：9時台から19時台</p>
1便あたり所要時間	約20分～50分

2) 利便
増進事業
の内容と
実施主体
(P.15)

3. 高校線 (旧東浦高校線 (東浦高校線文化センター経由))	
運行経路	従来と変更はありません。 緒川駅東口と東浦駅を結ぶ路線です。 
利用内容	狭路地域 (ふじが丘、文化センター周辺) のニーズに対応するものです。
新ダイヤ	平日は1便増、休日は1便減とします。夕方以降の利用が少ないこともあり、最終便を現行から早く設定しています。 現行は小型車 (13人乗り) ですが、ポンチョ型バス (ノンステップバス・35人乗り) に変更します。これにより、乗りこぼしを防ぎ、より安心して乗車できるようにします。
乗換	・「緒川駅東口」で「う・ら・ら」の他路線、知多バス「刈谷中部空港線」、JR 武豊線と乗継可能 ・「東浦駅」で藤江線と乗継可能
事業主体	東浦町
事業形態	一般乗合旅客運送 (路線定期運行)
運行日	毎日 (ただし 12月31日～1月2日は除く)
運賃	<u>一乗車 200円 (小中学生は 100円)</u>
総停留所	
車両	ポンチョ型バス (全長: 701 cm、全幅: 208 cm、全高: 310 cm)
運行時間帯	平日: 7時台から17時台 土日祝: 9時台から17時台
1便あたり所要時間	約 32分～65分

3. 高校線 (旧東浦高校線 (東浦高校線文化センター経由))	
運行経路	従来と変更はありません。 緒川駅東口と東浦駅を結ぶ路線です。 
利用内容	狭路地域 (ふじが丘、文化センター周辺) のニーズに対応するものです。
新ダイヤ	平日は1便増、休日は1便減とします。夕方以降の利用が少ないこともあり、最終便を現行から早く設定しています。 現行は小型車 (13人乗り) ですが、ポンチョ型バス (ノンステップバス・35人乗り) に変更します。これにより、乗りこぼしを防ぎ、より安心して乗車できるようにします。
乗換	・「緒川駅東口」で「う・ら・ら」の他路線、知多バス「刈谷中部空港線」、JR 武豊線と乗継可能 ・「東浦駅」で藤江線と乗継可能
事業主体	東浦町
事業形態	一般乗合旅客運送 (路線定期運行)
運行日	毎日 (ただし 12月31日～1月2日は除く)
運賃	一乗車 100円
総停留所	
車両	ポンチョ型バス (全長: 701 cm、全幅: 208 cm、全高: 310 cm)
運行時間帯	平日: 7時台から17時台 土日祝: 9時台から17時台
1便あたり所要時間	約 32分～65分


2) 利便
増進事業
の内容と
実施主体
(P.17)

4. 長寿線	
運行経路	従来と変更はありません。 東浦町と大府市の拠点間を結ぶ路線です。 緒川駅東口～長寿医療研究センター間を運行しています。 
利用内容	通勤通学、買い物、通院等の日常生活の移動手段として利用されています。
新ダイヤ	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿医療研究センターから緒川駅東口方面への昼間～13時台の運行便の発着時刻を見直し、通院便の利便性の向上を図っています。 ・早朝便を見直し、刈谷線の第1便に乗り継げることで、森岡地区の住民が刈谷豊田総合病院への通院便としても利用できるようにしました。 ・緒川駅東口は長寿医療研究センター行の最終便を延長し、鉄道利用者やショッピングモールの帰りの足として利便性の向上を図りました。
乗換	<ul style="list-style-type: none"> ・「緒川駅東口」で「う・ら・ら」の他路線、知多バス「刈谷中部空港線」、JR武豊線と乗継可能 ・「長寿医療研究センター」、「あいち健康プラザ」、「げんきの郷」で大府市循環バス、知多バス大府線・大府循環線と乗継可能 ・「森岡自然公園」、「森岡台」、「半ノ木」で知多バス大府循環線と乗継可能
事業主体	東浦町
事業形態	一般乗合旅客運送（路線定期運行）
運行日	毎日（ただし12月31日～1月2日は除く）
運賃	<u>一乗車200円（小中学生は100円）</u>
総停留所	
車両	中型バス（全長：901cm、全幅：230cm、全高：304cm） ポンチョ型バス（全長：701cm、全幅：208cm、全高：310cm）
運行時間帯	平日：7時台から19時台

4. 長寿線	
運行経路	従来と変更はありません。 東浦町と大府市の拠点間を結ぶ路線です。 緒川駅東口～長寿医療研究センター間を運行しています。 
利用内容	通勤通学、買い物、通院等の日常生活の移動手段として利用されています。
新ダイヤ	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿医療研究センターから緒川駅東口方面への昼間～13時台の運行便の発着時刻を見直し、通院便の利便性の向上を図っています。 ・早朝便を見直し、刈谷線の第1便に乗り継げることで、森岡地区の住民が刈谷豊田総合病院への通院便としても利用できるようにしました。 ・緒川駅東口は長寿医療研究センター行の最終便を延長し、鉄道利用者やショッピングモールの帰りの足として利便性の向上を図りました。
乗換	<ul style="list-style-type: none"> ・「緒川駅東口」で「う・ら・ら」の他路線、知多バス「刈谷中部空港線」、JR武豊線と乗継可能 ・「長寿医療研究センター」、「あいち健康プラザ」、「げんきの郷」で大府市循環バス、知多バス大府線・大府循環線と乗継可能 ・「森岡自然公園」、「森岡台」、「半ノ木」で知多バス大府循環線と乗継可能
事業主体	東浦町
事業形態	一般乗合旅客運送（路線定期運行）
運行日	毎日（ただし12月31日～1月2日は除く）
運賃	一乗車100円
総停留所	
車両	中型バス（全長：901cm、全幅：230cm、全高：304cm） ポンチョ型バス（全長：701cm、全幅：208cm、全高：310cm）
運行時間帯	平日：7時台から19時台

2) 利便
増進事業
の内容と
実施主体
(P.19 ~
20)

5. 刈谷線	
運行経路	<p>従来と変更はありません。 東浦町と刈谷市の拠点間を結ぶ路線です。 緒川駅東口～刈谷駅南口を運行しています。</p> 
利用内容	通勤通学、買い物、通院等の日常生活の移動手段として利
新ダイヤ	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷豊田総合病院から緒川駅方面への昼間～13時台の直見直し、通院便の利便性の向上を図っています。 ・運行車両の台数が減少する夕方以降は、町内を運行する比重を置いているため、刈谷線は減便となっていますが、口の到着時間を調整することで、乗継可能な運行便数は増
乗換	<ul style="list-style-type: none"> ・「緒川駅東口」で「う・ら・ら」の他路線、知多バス「J」JR武豊線と乗継可能 ・「刈谷駅南口」で刈谷市公共施設連絡バス、JR東海道本線と乗継可能 ・「刈谷豊田総合病院」で刈谷市公共施設連絡バス、高浜線と乗継可能
運営主体	東浦町

5. 刈谷線	
運行経路	<p>従来と変更はありません。 東浦町と刈谷市の拠点間を結ぶ路線です。 緒川駅東口～刈谷駅南口を運行しています。</p> 
利用内容	通勤通学、買い物、通院等の日常生活の移動手段として利
新ダイヤ	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷豊田総合病院から緒川駅方面への昼間～13時台の直見直し、通院便の利便性の向上を図っています。 ・運行車両の台数が減少する夕方以降は、町内を運行する比重を置いているため、刈谷線は減便となっていますが、口の到着時間を調整することで、乗継可能な運行便数は増
乗換	<ul style="list-style-type: none"> ・「緒川駅東口」で「う・ら・ら」の他路線、知多バス「J」JR武豊線と乗継可能 ・「刈谷駅南口」で刈谷市公共施設連絡バス、JR東海道本線と乗継可能 ・「刈谷豊田総合病院」で刈谷市公共施設連絡バス、高浜線と乗継可能
運営主体	東浦町

3. 地域公共交通
 利便増進
 事業の内容・実施
 主体
 (2) 知多バス東ヶ丘団地線との連携の強化
 (P. 26)

(2) 知多バス東ヶ丘団地線との連携の強化

A：事業の内容と実施主体

地域公共交通計画施策 I		方針 1	方針 2	方針 3
事業 I-3 知多バス「東ヶ丘団地線」の利便性向上		○	○	○
利便増進事業 内容	「う・ら・ら」を知多バス東ヶ丘団地線と同一経路、同一停留所を運行し、 <u>運賃(普通旅客運賃)</u> を統一します。 <u>(定期券及び1日乗車券は「う・ら・ら」のみ使用可能)</u> 。			
実施主体	東浦町、知多乗合株式会社			

B：事業の目的

- ・ニーズが多かった「う・ら・ら」の異ヶ丘駅の乗り入れを実現し、公共交通ネットワークを構築します。
- ・西知多総合病院への通院を可能にします。
- ・運賃や一部のバス停を統一することで、わかりやすさ・利便性の向上を図ります。
- ・知多バス「東ヶ丘団地線」の運行空白時間帯も「う・ら・ら」が運行することで、東ヶ丘団地を中心としたダイヤの充実を図ります。

(2) 知多バス東ヶ丘団地線との連携の強化

A：事業の内容と実施主体

地域公共交通計画施策 I		方針 1	方針 2	方針 3
事業 I-3 知多バス「東ヶ丘団地線」の利便性向上		○	○	○
利便増進事業 内容	「う・ら・ら」を知多バス東ヶ丘団地線と同一経路、同一停留所を運行し、 <u>運賃</u> を統一します。			
実施主体	東浦町、知多乗合株式会社			

B：事業の目的

- ・ニーズが多かった「う・ら・ら」の異ヶ丘駅の乗り入れを実現し、公共交通ネットワークを構築します。
- ・西知多総合病院への通院を可能にします。
- ・運賃や一部のバス停を統一することで、わかりやすさ・利便性の向上を図ります。
- ・知多バス「東ヶ丘団地線」の運行空白時間帯も「う・ら・ら」が運行することで、東ヶ丘団地を中心としたダイヤの充実を図ります。

4. 事業
実施に必
要な資金
の額・調
達方法
(P. 27)

4. 事業実施に必要な資金の額・調達方法

利便増進事業の実施に必要な資金の額及び調達方法について、以下のとおり設定及び予定しています。

利便増進事業	必要な資金の額	調達方法
(1) 「う・ら・ら」の路線変更	(バス年度) 【2024年度以降】834,040千円	東浦町 681,215千円 (委託料) 運賃収入 90,930千円 国 56,955千円 (地域間幹線系統) 国 4,940千円 (フィーダー系統)

利用者の利便の増進を図るための事業	必要な資金の額	調達方法
(1) 公共交通の運賃支払い方法の多様化 ・「う・ら・ら」田舎券を民間バス、タクシーで金券として使用 ・「う・ら・ら」の他路線へ無料で乗り継ぐことができる乗継券を発行 ・1日乗継券の発行費用、電子チケットの購入・経費費用等	(会計年度) 【2024年度以降】1,800千円 (会計年度) 【2026年度以降】155千円	・東浦町支出 1,800千円 ・東浦町支出 155千円
(2) 公共交通を安心して利用できる情報の提供 ・分かりやすい路線図・時刻表の作成 ・「公共交通パンフレット」の作成 ・バスロケーションシステムによる運行状況の発信	(会計年度) 【2025年度以降】780千円 (会計年度) 【2024年度】1,175千円 (会計年度) 【2024年度】787千円 【2025年度以降】6,770千円	・国補助金 390千円 ・東浦町支出 390千円 ・国補助金 587千円 ・東浦町支出 587千円 【2024年度】 ・東浦町支出 787千円 【2025年度以降】 ・国補助金 3,385千円 ・東浦町支出 3,385千円
(3) 利用促進事業 ・観光や高齢者に対する乗り方教室の開催	(会計年度) 【2024年度以降】2,715千円	・国補助金 1,357千円 ・東浦町支出 1,357千円

4. 事業実施に必要な資金の額・調達方法

2024年10月に着手予定の利便増進事業の実施に必要な資金の額及び調達方法について、以下のとおり設定及び予定しています。

利便増進事業	必要な資金の額	調達方法
(1) 「う・ら・ら」の路線変更	(バス年度) 【2024年度以降】834,040千円	東浦町 681,215千円 (委託料) 運賃収入 90,930千円 国 56,955千円 (地域間幹線系統) 国 4,940千円 (フィーダー系統)

利用者の利便の増進を図るための事業	必要な資金の額	調達方法
(1) 公共交通の運賃支払い方法の多様化 ・「う・ら・ら」田舎券を民間バス、タクシーで金券として使用 ・「う・ら・ら」の他路線へ無料で乗り継ぐことができる乗継券を発行	(会計年度) 【2024年度以降】1,800千円	・東浦町支出 1,800千円
(2) 公共交通を安心して利用できる情報の提供 ・分かりやすい路線図・時刻表の作成 ・「公共交通パンフレット」の作成 ・バスロケーションシステムによる運行状況の発信	(会計年度) 【2025年度以降】780千円 (会計年度) 【2024年度】1,175千円 (会計年度) 【2024年度】787千円 【2025年度以降】6,770千円	・国補助金 390千円 ・東浦町支出 390千円 ・国補助金 587千円 ・東浦町支出 587千円 【2024年度】 ・東浦町支出 787千円 【2025年度以降】 ・国補助金 3,385千円 ・東浦町支出 3,385千円
(3) 利用促進事業 ・観光や高齢者に対する乗り方教室の開催	(会計年度) 【2024年度以降】2,715千円	・国補助金 1,357千円 ・東浦町支出 1,357千円

5. 事業の
効果
(P.28)

5. 事業の効果

1) 事業の効果

実施項目	事業実施の効果	地域公共交通計画 目標の位置づけ
「う・ら・ら」の路線変更	路線を再編し、巽ヶ丘駅へ乗り入れることにより、町外移動に利用可能な交通手段の増加等、総合的な利便性の向上を図り、公共交通ネットワークの構築が図れます。また、要望の多かった西知多総合病院への通院やおでかけの足を確保できるようになります。 また、環状線が藤江線と新田線に分かれることで、目的地が分かりやすくなり、誤乗車防止に繋がります。	<計画目標3> 「う・ら・ら」各路線・系統の利用者数の増加 基本方針1、2、3
知多バス東ヶ丘団地線との連携強化	知多バス東ヶ丘団地線と「う・ら・ら」の連携・強化により、 <u>運賃(普通旅客運賃)</u> を統一料金とし、わかりやすさ・利便性の向上を図ります。 さらに、知多バス東ヶ丘団地線の運行空白時間帯も「う・ら・ら」が運行することで、ニーズの多かった病院帰りの足を確保します。 また、回数券の共通利用を実施していましたが、乗継利便性の効果が薄かったため、運賃を統一料金とすることで、抜本的な見直しを図ります。 <u>加えて、運賃支払い方法の多様化(定期券の拡充、1日乗車券の発行等)を実施することで、以下のさらなる効果を期待しています。</u> ● <u>利用者のニーズに応じた料金プランの提供により、頻繁な利用者や観光客の利便性向上を実現。</u> ● <u>地域住民の負担軽減を図ることで、公共交通をより日常的な移動手段として定着させ、利用者数の増加につながる。</u>	<計画目標2> 公共交通利用者数・利用台数の増加 基本方針1、2、3
利便性向上等のためのダイヤ設定、停留所新設、利用促進策の実施、回数券の共通利用など	既存の輸送資源を利用実態や需要に合わせて再配分を行い、持続可能な交通体系を維持しつつ、乗換の改善等総合的な利便性の維持・向上を図ります。 また、ダイヤ改正の効果を多くの方に伝える利用促進事業を実施することで、新利用者の獲得を図り、継続的な公共交通の利用に繋がります。また、乗り方教室やパンフレットの発行により、従来の利用者に対しても、引き続き安心して利用できる環境を整えます。	<計画目標1、6、7> 1公共交通の利用頻度の向上 6高齢者(65歳以上)の外出頻度 7年代別外出頻度の向上 基本方針1、2

5. 事業の効果

1) 事業の効果

実施項目	事業実施の効果	地域公共交通計画 目標の位置づけ
「う・ら・ら」の路線変更	路線を再編し、巽ヶ丘駅へ乗り入れることにより、町外移動に利用可能な交通手段の増加等、総合的な利便性の向上を図り、公共交通ネットワークの構築が図れます。また、要望の多かった西知多総合病院への通院やおでかけの足を確保できるようになります。 また、環状線が藤江線と新田線に分かれることで、目的地が分かりやすくなり、誤乗車防止に繋がります。	<計画目標3> 「う・ら・ら」各路線・系統の利用者数の増加 基本方針1、2、3
知多バス東ヶ丘団地線との連携強化	知多バス東ヶ丘団地線と「う・ら・ら」の連携・強化により、 <u>運賃</u> を統一料金とし、わかりやすさ・利便性の向上を図ります。 さらに、知多バス東ヶ丘団地線の運行空白時間帯も「う・ら・ら」が運行することで、ニーズの多かった病院帰りの足を確保します。 また、回数券の共通利用を実施していましたが、乗継利便性の効果が薄かったため、運賃を統一料金とすることで、抜本的な見直しを図ります。	<計画目標2> 公共交通利用者数・利用台数の増加 基本方針1、2、3
利便性向上等のためのダイヤ設定、停留所新設、利用促進策の実施、回数券の共通利用など	既存の輸送資源を利用実態や需要に合わせて再配分を行い、持続可能な交通体系を維持しつつ、乗換の改善等総合的な利便性の維持・向上を図ります。 また、ダイヤ改正の効果を多くの方に伝える利用促進事業を実施することで、新利用者の獲得を図り、継続的な公共交通の利用に繋がります。また、乗り方教室やパンフレットの発行により、従来の利用者に対しても、引き続き安心して利用できる環境を整えます。	<計画目標1、6、7> 1公共交通の利用頻度の向上 6高齢者(65歳以上)の外出頻度 7年代別外出頻度の向上 基本方針1、2

6. 地域公共交通
 公共交通
 便利増進
 事業に関
 連して実
 施する事
 業
 (P. 33 ~
 35)

6. 地域公共交通便利増進事業に関連して実施する事業

便利増進事業に関連して実施する地域公共交通の利用者の利便の増進を図るための事業は、以下に示すとおりです。

事業名	事業概要	実施主体	実施時期
公共交通の 運賃支払い 方法の多様 化	<p>・「う・ら・ら」回数券を民間バス、タクシーで金券として使用</p> <p>・「う・ら・ら」の他路線へ無料で乗り継ぐことができる乗継券を発行</p>  <p>回数券の共通利用の案内</p>  <p>乗継券の案内</p> <p>・「う・ら・ら」において、既存の2か月定期券及び3か月定期券について、新たに割引率を設定し、1日乗車券(300円)を発行する。</p>	東浦町 交通事業者	2024年度～ 2029年度

6. 地域公共交通便利増進事業に関連して実施する事業

便利増進事業に関連して実施する地域公共交通の利用者の利便の増進を図るための事業は、以下に示すとおりです。

事業名	事業概要	実施主体	実施時期
公共交通の 運賃支払い 方法の多様 化	<p>・「う・ら・ら」回数券を民間バス、タクシーで金券として使用</p> <p>・「う・ら・ら」の他路線へ無料で乗り継ぐことができる乗継券を発行</p>  <p>回数券の共通利用の案内</p>  <p>乗継券の案内</p>	東浦町 交通事業者	2024年度～ 2029年度

(定期券割引率)

期間	割引率
1か月	通常価格
2か月	5%
3か月	10%



東浦町運行バス「う・ら・ら」1日乗車券 (イメージ)

・定期券の種類に「高齢者 (75 歳以上) 及び自主運転免許返納者」を新設



定期券 (イメージ)

公共交通を安心して利用できる情報の提供

- ・分かりやすい路線図・時刻表の作成・「公共交通パンフレット」の作成
- ・バスロケーションシステムによる運行状況の発信

東浦町
交通事業者
地域
企業

2024 年度～
2029 年度



公共交通パンフレット



バスロケーションシステム

・定期券及び1日乗車券に電子チケットを導入



電子チケット画面（イメージ）

・「う・ら・ら」及び知多バス東ヶ丘団地線にキャッシュレス割引を設定（交通系 IC カードの場合、運賃は一乗車 150 円。小中学生の適用はなし）
（キャッシュレス割引）

支払い方法	運賃
現金、回数券	200 円
交通系 IC カード	150 円 (50 円割引)

公共交通を安心して利用できる情報の提供

- ・分かりやすい路線図・時刻表の作成
- ・「公共交通パンフレット」の作成
- ・バスロケーションシステムによる運行状況の発信



公共交通パンフレット

東浦町
交通事業者
地域
企業

2024 年度～
2029 年度

利用促進事業

- ・異ヶ丘駅で出発式を行い、「う・ら・ら」の異ヶ丘駅乗り入れを PR
- ・園児や高齢者に対する乗り方教室の開催
- ・利用促進を目的とした「う・ら・ら」を利用したイベントの開催
- ・IC カード導入による特典の設定



産業まつり

「う・ら・ら」やタクシー車両を使った
乗り方教室と乗務員募集の案内



小学生親子を対象に実施したバス車庫ナイトツアー

公共交通を身近に感じてもらうことを目的に、知多乗合株式会社にて電気バスや整備の見学、洗車体験などを実施した。

	 <p>バスロケーションシステム</p>		
<p>利用促進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・異ヶ丘駅で出発式を行い、「う・ら・ら」の異ヶ丘駅乗り入れをPR ・園児や高齢者に対する乗り方教室の開催 ・利用促進を目的とした「う・ら・ら」を利用したイベントの開催 ・ICカード導入による特典の設定 ・産業まつりで「う・ら・ら」やタクシー車両を使った乗り方教室と乗務員募集の案内  <p>タクシー車両の出展ブース</p>  <p>バスの乗り方教室・時刻表の読み方教室</p>	<p>東浦町 交通事業者 地域 企業</p>	<p>2024年度～ 2029年度</p>

・公共交通を身近に感じてもらうことを目的に、知多乗合株式会社にて電気バスや整備の見学、洗車体験などを実施した。



小学生親子を対象に実施したバス車庫ナイトツアー

7月24日月

知多乗合株式会社(半田市)
集合・解散場所 / 東瀬町役場 正西玄関前

集合 / 午後5時
解散 / 午後8時15分

※参加費は「つらら」からご確認ください

●対象 町内小学生とその保護者(保護者1名につき子ども3名まで)
●定員 20名(定員超過の場合は、お申し込みいただいた順にキャンセルさせていただきます)
●申込先 東瀬町・知多乗合株式会社
●申込期 7月20日(土)から17日(日)までに、「あいの電子申請-申込システム」にてお申し込みください

参加費 無料